

Agri-s の



農機メンテの部屋

Vol. 9

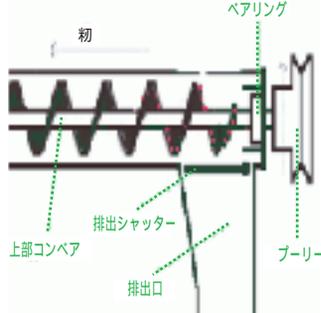
地域によつては2ヶ月ほど雨の降り方が全然違いますが、今年の梅雨空は、短時間の大雨はあっても、当地区では概ね全体的には少ない感じを受けている人が多い様です。

そんな梅雨空の中、今年もJAS監査が、朝8時半から午後2時過ぎまで行われました。圃場では一ヶ所の圃場で隣接一般圃場の乗入れに散布された除草剤痕の影響について指摘され、干渉地帯幅の少ないところでは隣接の乗入れまで除草管理までしなければならぬように思われます。また、ラジコンヘリ防除地域の近隣圃場において、境界から2m(4m)の緩衝地帯の設置、若しくは別刈り管理等の実施状況の確認、書類検査では作業日誌と記録帳との矛盾点がないかチェック、一部作業日誌記録の欠落を発見、記録書類作成のチェック方法、記録様式の連携、さらにJASシールと転換期間中シールとの識別性の向上等、多々指摘を受けて今年度の監査を終了し、早速、1ヶ月以内に内部規約等の改正作業を始めるところです。総計50、60ページ程度の内、20ページ位の書換えが必要と感じます。今回の監査では、各機械において、整備状況、洗浄記録のチェック、作業場内において、異品種混入防止策のチェックが重点的にされていきました。作業場内の有機、その他の貯蔵スペースの明確な表示をされているのかの確認、又、乾燥・調製機械等の内部清掃状況です。

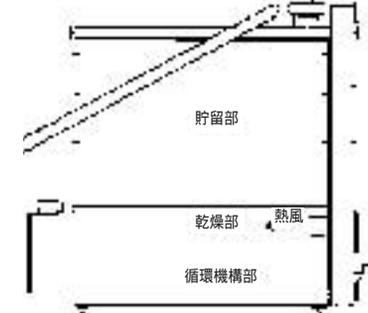
場において、境界から2m(4m)の緩衝地帯の設置、若しくは別刈り管理等の実施状況の確認、書類検査では作業日誌と記録帳との矛盾点がないかチェック、一部作業日誌記録の欠落を発見、記録書類作成のチェック方法、記録様式の連携、さらにJASシールと転換期間中シールとの識別性の向上等、多々指摘を受けて今年度の監査を終了し、早速、1ヶ月以内に内部規約等の改正作業を始めるところです。総計50、60ページ程度の内、20ページ位の書換えが必要と感じます。今回の監査では、各機械において、整備状況、洗浄記録のチェック、作業場内において、異品種混入防止策のチェックが重点的にされていきました。作業場内の有機、その他の貯蔵スペースの明確な表示をされているのかの確認、又、乾燥・調製機械等の内部清掃状況です。

内、バケットケース内等。また、モミ一時貯蔵部屋およびパイプ出入り口の残留物のチェックです。

《下部スクリーケース》
残留モミの例(これは我家ではありません。念のため)。
特に兼用で使用されている場合、これらは各機械の洗浄記録に乗せなければならぬし、消費モミター等で追跡調査が行われた場合、開示説明が求められる項目でもあることです。(モミター調査例では、異品種混入で小分け業者はもちろん、生産者の記録もチェック、混入した圃場を特定、該当口ツト分を隔離した例も有るようです。)



《上部スクリー関係》



《乾燥機全体図》

大豆関係の作業中で口タリーの異音発生
チェーンケース側の反対側より異音発生で確認したらご覧のとおりです。(右下写真)
こちらは運良くオイルが入っていない型なので

機械関係

以上のことから清掃は確実に作業し、清掃記録を残すことにより自分を守る事にもなり、消費者からの評価も更に高まると思います。

ればならないし、消費モミター等で追跡調査が行われた場合、開示説明が求められる項目でもあることです。(モミター調査例では、異品種混入で小分け業者はもちろん、生産者の記録もチェック、混入した圃場を特定、該当口ツト分を隔離した例も有るようです。)



余談
最近、知り合いより農政局から当日朝に電話があり各付品の買い上げや有機表示の任意調査に当日訪問され、一日中付き合われた等(当然、本人は仕事を当日キャンセル)

すが、長年使用していて、ベアリング内に泥水等が入り破損しようとしています。ベアリング、シール等の交換にて修理完了。ドライブハローと違い、毎年点検グリス注入はほとんどされていない方が多いようです。5年以上使用していたらベアリングカバーを外し、グリスを入れて下さい。グリスを注入していれば防げる故障です。



圃場巡回
ご協力ありがとうございます

ルした)の話聞きましたが、立ち入り調査(強制調査)でも無い任意調査の場合、当日拒否又は、スケジュール調整等が出来ないものがある。悩む処ではあります。

Agri-S 記